

決算特別委員会総務文教分科会

令和4.9.15（木）午前10時30分

令和4.9.16（金）午前10時

令和4.9.20（火）午前10時

令和4.9.21（水）午前10時

令和4.9.22（木）午前10時

場所：第3委員会室、全員協議会室

1 開会

2 付託議案審査（説明～質疑）

- (1) 令和3年度亀岡市一般会計決算認定について（第12号議案所管分）
- (2) 令和3年度亀岡市曾我部山林事業特別会計決算認定について（第18号議案）
- (3) 令和3年度各財産区特別会計決算認定について（第22号議案～第51号議案）

報告 「健全化判断比率及び資金不足比率の状況」

3 事務事業評価

- (1) 生涯学習推進経費
(ガレリアかめおか指定管理料・ガレリアかめおか長寿命化対策工事・
ガレリアかめおか長寿命化対策工事監理業務委託)
- (2) 交通安全対策経費（高齢者運転免許証自主返納支援事業）
- (3) 学校運営経費（選択制デリバリー弁当実施経費）

4 討論～分科会採決

5 委員長報告の確認

6 その他

総務文教分科会委員長報告①

(R4.9.22)

総務文教分科会に付託されました、令和3年度一般会計、曾我部山林事業特別会計及び各財産区特別会計の決算認定について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

本分科会は、去る9月15日、16日、20日、21日の4日間にわたり、各担当部課長等の出席を求め、書類審査を行い、予算執行が議決どおり適切かつ効率的に行われたか、また、限られた財源の中で、市民が期待する、行政効果が上げられたか等に主眼をおき、決算書及び主要施策報告書等、関係書類をもとに、監査委員の決算審査意見書をも十分参考にして、慎重に審査を行いました。

また、あらかじめ選定した3つの事業については、事業の必要性、妥当性、効率性、また、費用対効果や成果を主眼に事務事業評価を行いました。

まず、第12号議案、令和3年度一般会計決算の本分科会所管分についてであります。

令和3年度一般会計予算は、今後10年間のまちづくりの指針となる、第5次亀岡市総合計画スタートの年として、「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の実現に向けて、対前年度比10.4%の増額予算として編成されたものであります。

決算審査の結果、歳入面では、市税につきましては、コロナ禍において想定されていたよりも税収が落ち込まなかったことで、対前年度比0.4%の増額となり、5年連続100億円の大台を維持されています。また、ふるさと力向上寄附金が、31億円を超えたことやそれぞれの事業における特定財源の確保、滞納整理の取組など

により、できる限りの収入確保に努められました。

また、歳出面でも、コロナ対策や人口減少、自然災害など、様々な課題が山積する中においても、計画的に市民福祉の増進に向けた事務事業執行に努められました。

その結果、実質収支は、17億8,479万円で市制施行以来最大の黒字額となっています。

今後も、市税等の限られた財源を有効に活用しながら、事業の取捨選択を行い、あらゆる方面から財源確保に向けての努力を願い、財政健全化を望むものであります。

次に、歳出面での具体的な執行状況について、令和3年度一般会計決算の本分科会所管分歳出は、議会費、総務費、民生費、消防費、教育費に及んでおります。

その主な内容は、

- ・ デジタル広告の配信や亀岡市認知度調査の実施によるシティプロモーションの推進、
- ・ ふるさと納税制度を活用した、本市の魅力のPR、及び返礼品の発注等を通じた地域活性化の推進、
- ・ RPAの導入による業務の効率化と市民サービスの向上推進、
- ・ 経年劣化に伴い修繕が必要なガレリアかめおかの、長寿命化対策の実施、
- ・ 生理の貧困対策として、生理用品の無償配布、
- ・ 京都サンガF.C.のJ1昇格やオリンピック関連事業によるスポーツを通じたにぎわいの創出、
- ・ 近年、多発、激甚化する自然災害に備えるため、避難訓練や防災講演会などの複合的な開催、

- ・学校規模適正化事業の推進、
- ・ICT機器の活用など、様々な教育課題にいち早く対応し、サポートするための、亀岡市みらい教育リサーチセンターの創設と、GIGAスクール構想の推進、
- ・教育環境の整備・充実を図るための、千代川小学校校舎の大規模改築をはじめとする各小中学校の改修工事、等々でありました。

採決に先立ち、予算審査のときから指摘してきた費目について、税金の使い方として疑義があり、方向性として正しくないと認識する、との反対討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、決算審査の中で、市役所の正職員及び会計年度任用職員、並びに教職員の健康管理について、適正に健康診断を受診させるとともに、残業時間の縮小と有給休暇の取得を促進すること、予算編成後に他の部署に移管された事業について、決算の書類に未記載があったこと、生涯学習賞の選考について見直しを含めた検討を行うこと、若木の家については児童生徒の利用が極端に少ないため、今後の活用策の検討を行うこと、などの意見がありましたので、今後の事務執行において留意いただきますようお願いいたします。

次に、第18号議案、曾我部山林事業特別会計の決算であります。が、指摘すべき点はなく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、第22号議案から第51号議案までの、亀岡財産区ほか

29 財産区特別会計決算であります。山林等の管理に要する財産管理経費等の執行をされたものであります。適正に執行されており、採決の結果は、全30財産区特別会計いずれも全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

《総務文教分科会》

令和4年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	生涯学習推進経費 (ガレリアかめおか指定管理料・ガレリアかめおか長寿命化対策工事・ガレリアかめおか長寿命化対策工事監理業務委託)	3 見直しの上継続	○指定管理料の抑制について、令和6年度までに具体的な成果がでるよう努めること。 ○ガレリアかめおかについては、今後のあり方について市全体で調査検討されたい。
2	交通安全対策経費 (高齢者運転免許証自主返納支援事業)	3 見直しの上継続	○対象者のニーズを把握し、事業推進を工夫されたい。 ○市全体の課題として、返納後の移動手段の整備に努められたい。
3	学校運営経費 (選択制デリバリー弁当実施経費)	3 見直しの上継続	○食育の要素を取り入れ、喫食率の向上に努め、完全給食につながるよう努力されたい。

総務文教分科会委員長報告②

(R4.9.22)

総務文教分科会に付託されました、令和3年度一般会計、曾我部山林事業特別会計及び各財産区特別会計の決算認定について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

本分科会は、去る9月15日、16日、20日、21日の4日間にわたり、各担当部課長等の出席を求め、書類審査を行い、予算執行が議決どおり適切かつ効率的に行われたか、また、限られた財源の中で、市民が期待する、行政効果が上げられたか等に主眼をおき、決算書及び主要施策報告書等、関係書類をもとに、監査委員の決算審査意見書をも十分参考にして、慎重に審査を行いました。

また、あらかじめ選定した3つの事業については、事業の必要性、妥当性、効率性、また、費用対効果や成果を主眼に事務事業評価を行いました。

まず、第12号議案、令和3年度一般会計決算の本分科会所管分についてであります。

令和3年度一般会計予算は、今後10年間のまちづくりの指針となる、第5次亀岡市総合計画スタートの年として、「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の実現に向けて、対前年度比10.4%の増額予算として編成されたものであります。

決算審査の結果、歳入面では、市税につきましては、コロナ禍において想定されていたよりも税収が落ち込まなかったことで、対前年度比0.4%の増額となり、5年連続100億円の大台を維持されています。また、ふるさと力向上寄附金が、31億円を超えたことやそれぞれの事業における特定財源の確保、滞納整理の取組など

により、できる限りの収入確保に努められました。

また、歳出面でも、コロナ対策や人口減少、自然災害など、様々な課題が山積する中においても、計画的に市民福祉の増進に向けた事務事業執行に努められました。

その結果、実質収支は、17億8,479万円で市制施行以来最大の黒字額となっています。

今後も、市税等の限られた財源を有効に活用しながら、事業の取捨選択を行い、あらゆる方面から財源確保に向けての努力を願い、財政健全化を望むものであります。

次に、歳出面での具体的な執行状況について、令和3年度一般会計決算の本分科会所管分歳出は、議会費、総務費、民生費、消防費、教育費に及んでおります。

その主な内容は、

- ・ デジタル広告の配信や亀岡市認知度調査の実施によるシティプロモーションの推進、
- ・ ふるさと納税制度を活用した、本市の魅力のPR、及び返礼品の発注等を通じた地域活性化の推進、
- ・ RPAの導入による業務の効率化と市民サービスの向上推進、
- ・ 経年劣化に伴い修繕が必要なガレリアかめおかの、長寿命化対策の実施、
- ・ 生理の貧困対策として、生理用品の無償配布、
- ・ 京都サンガF.C.のJ1昇格やオリンピック関連事業によるスポーツを通じたにぎわいの創出、
- ・ 近年、多発、激甚化する自然災害に備えるため、避難訓練や防災講演会などの複合的な開催、

- ・学校規模適正化事業の推進、
- ・ICT機器の活用など、様々な教育課題にいち早く対応し、サポートするための、亀岡市みらい教育リサーチセンターの創設と、GIGAスクール構想の推進、
- ・教育環境の整備・充実を図るための、千代川小学校校舎の大規模改築をはじめとする各小中学校の改修工事、等々でありました。

採決に先立ち、予算審査のときから指摘してきた費目について、税金の使い方として疑義があり、方向性として正しくないと認識する、との反対討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、決算審査の中で、市役所の正職員及び会計年度任用職員、並びに教職員の健康管理について、管理者の責務として、全対象者に健康診断を受診させるとともに、時間外勤務の縮減と有給休暇の取得促進を図ること、予算編成後に他の部署に移管された事業について、決算の書類に未記載があったこと、生涯学習賞の選考について見直しを含めた検討を行うこと、若木の家については児童生徒の利用が極端に少ないため、今後の活用策の検討を行うこと、などの意見がありましたので、今後の事務執行において留意いただきますようお願いいたします。

なお、事務事業評価における審査状況につきまして、

まず、生涯学習推進経費、ガレリアかめおか指定管理料・ガレリアかめおか長寿命化対策工事・ガレリアかめおか長寿命化対策工事管理業務委託については、令和3年度から指定管理者が変わり令和

6年度まで業務を委託することになったが、依然として2億円を超える業務委託料を支出しないと運営できない状況が続いていること、長寿命化対策工事は令和4・1年まで120億円の支出を見込んでおり、そのような施設のあり方に検討の余地がないのかなどの課題が出され、「指定管理料の抑制について、令和6年度までに具体的な成果が出るよう努めること」「ガレリアかめおかについては、今後のあり方について市全体で調査検討されたい」との意見をつけた上で、見直しの上継続の評価としました。

次に、交通安全対策経費、高齢者運転免許証自主返納支援事業については、返納者に対して、バスおよびタクシーチケットだけでは、市内中心部から遠方の居住者には使えない、ICOCAカードなどの便利なサービスと連携させてほしい、そもそも免許返納したら移動手段がないなどの市民の声があることを指摘し、「対象者のニーズを把握し、事業推進を工夫されたい」「市全体の課題として、返納後の移動手段の整備に努められたい」との意見をつけた上で、見直しの上継続の評価としました。

次に、学校運営経費、選択制デリバリー弁当実施経費では、全校実施となって以来、現時点まで、1日の平均利用率は3%未満という状況が続いていること、この事業によって食育推進というところまでは至っていないことが質疑で明らかになる中、来たるべき全員性の給食実施に向け、「食育の要素を取り入れ、喫食率の向上に努め完全給食につながるよう努力されたい」との意見をつけた上で、見直しの上継続の評価としました。

次に、第18号議案、曾我部山林事業特別会計の決算であります
が、指摘すべき点はなく、採決の結果は、全員をもって認定すべき
ものと決定しました。

次に、第22号議案から第51号議案までの、亀岡財産区ほか
29財産区特別会計決算であります。山林等の管理に要する財産
管理経費等の執行をされたものであります。適正に執行されてお
り、採決の結果は、全30財産区特別会計いずれも全員をもって認
定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。